

4 総括

- ・日本企業の海外進出は、生産拠点としての進出から大消費地としての進出へとその形態が徐々に変化を見せていることや、経済成長著しい中国のすう勢の一端を垣間見たミッションとなった。
- ・今回の中国経済ミッションでは、直江津港と外国定期コンテナ航路で結ばれている大連、天津、青島の各市を訪問し、友好交流の絆を深めるとともに、航路で結ばれている強みを活かした産業振興を図ることを目的とした。
- ・具体的には、市内企業の海外取引による産業の振興と、直江津港の日本海側拠点港選定に向けた対外的な発信とした。
- ・まず、「市内企業の海外取引による産業の振興」では、日系企業として初めて中国に進出した企業を訪問し、事業展開の様子や中国における雇用問題、賃金実態を学んだほか、大連経済技術開発区職員の方とも開発区への進出の状況など情報交換することができ、有意義な訪問となった。
- ・また、当市のリサイクル企業が技術提携している現地企業が立地する天津市静海県では、リサイクル事業を核とした都市機能を備えたエコタウン構想の説明を受け、実際に技術供与を行って完成した工場の視察を行った。このような民間交流がきっかけとなり、天津市静海県からは新たに友好都市関係を結びたいとのお話をいただいた。今後、実効性のある交流実績を積み上げていき、関係をより強固なものとしていくことが必要である。また、青島市では、関税優遇措置のある区域において、輸入品取引が行える施設設置構想を伺い、新たなビジネスチャンスの可能性を感じてきた。
- ・さらに、「直江津港の日本海側拠点港選定に向けた対外的な発信」については、市長自らが大連、天津、青島の政府関係者や港湾管理者に対して、日本の中心に位置する直江津港の地理的な優位性をアピールし、利用促進に向けたトップセールスを行い、定期航路で結ばれた両港湾の物流拡大に向けて、互いに協力・交流していくことを確認したほか、天津市では、現地企業や日系進出企業、政府関係者など 35 社約 60 名に対し、直江津港のトップセール

スを行い、日中間の物流に直江津港を利用してもらうよう働きかけることができた。参加企業からは、今後の事業展開の中で直江津港の利用を検討したいという話をいただき、今後につながる意義のある交流会になった。

- 今回は、港でつながる都市との関係構築に併せ、市内企業に対して経済ミッションという形で情報収集の機会を提供したが、今後、海外取引の実施など次の段階に進む企業の成長に結びつくよう側面的な支援を行政として行っていく必要がある。そのため、当市が大連市、天津市、青島市の政府関係者や港湾管理者、ジェトロなどの支援機関と日頃から情報交換を地道に続けていくことが肝要であり、最初に天津市静海県との関係の在り方の検討や、青島保税港区の状況確認から始めていきたいと考えている。そして、そこから得られた有益な情報を、行政や商工会議所が有するネットワークにより、広く市内企業に還元していかなければならないものと認識している。さらにそれらの情報が、市内企業の事業展開に活用され、ひいては市内経済の活性化や産業振興、税収確保につながっていくように取り組んでいく。